

中小企業支援センター「成果事例発表会 & 講演会」を開催しました！

北九州市中小企業支援センターでは、中小企業等の課題解決のため、窓口相談や専門家派遣などを実施しています。去る3月8日、北九州テクノセンタービルにおいて、この施策を活用して課題解決に取り組まれた企業3社による成果事例発表会と「中小企業の弁護士活用法」の講演会を実施しました。

■株式会社ヴィンテージ（小倉北区）

<事例1> 福祉系システムで事業拡大～創業から売上高1億円へ～

当社は、福祉・法律などを得意分野とするIT企業です。創業時に北九州テレワークセンターに入居し、インキュベーション・マネージャーに経営について随時相談しながら事業を展開してきました。ホームページ作成などから事業を開始し、市の各種支援施策を活用して成年後見業務支援「みると」、日常生活自立支援「らいと」などの商品を開発し販売しています。現在は、導入先からの口コミで全国から引き合いが増えていきます。



<郷田和正 社長>

■株式会社マリントック（八幡西区）

<事例2> 船舶向けLEDフラッシュライトの開発

当社は、配光技術、防水技術を持っており、これまでにマグロ養殖用LED水中照明システム等を製品化してきました。現在、ニッチな分野に特化した製品開発に挑戦しています。製品開発に係わる課題は、当センターの窓口相談や専門家派遣制度を活用するとともに、地域の大学、県工業技術センターの支援を受けることで解決しています。



<野条文洋 氏>

■板井築炉株式会社（小倉北区）

<事例3> 専門家派遣事業による継続的改善の取り組み

当社は、築炉、交通安全設備工事及びセラミックス加工を行っている会社です。成長を実現するためのビジョンとシナリオ作り、社員のモチベーションアップの仕組みづくり、組織力の強化、人材育成の取り組みについて相談を受け、継続的な改善に向け、取り組みを開始しました。専門家派遣制度を活用して、セラミックス複合材検査システムの開発で経営革新の認定を受けるとともに、IT活用を進め、利益率の改善を図るなど継続的な改善に取り組み、着実に成果が表れています。



<板井一正 社長>

事例発表会の後に、「中小企業の弁護士活用法（トラブル実例編）」をテーマに弁護士による講演会を実施しました。代金回収と労働問題の2つのトラブル事例の紹介があり、どこに相談に行けばよいのかなど、弁護士へのアクセス方法についての紹介もありました。参加者からは、「とても勉強になった。」「当社もトラブルを抱えており、弁護士に相談してみたい。」などの感想をいただきました。

【問い合わせ先】(公財)北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター 担当:田村、TEL:093-873-1430

平成28年経済センサス-活動調査にご協力ください!!

総務省と経済産業省は、平成28年6月1日現在で、我が国のすべての産業分野における事業所・企業の経済活動の状況を全国的・地域別に明らかにすることを目的とした、「平成28年経済センサス-活動調査」を実施します。

調査票は、5月下旬に、「調査員証」・「腕章」を身に付けた福岡県知事の任命による調査員がお伺いして直接配布するか、国から郵送されます。調査票が届きましたら、同封されている「調査票の記入のしかた」をご覧ください。漏れなくご回答ください。

なお、回答は、24時間いつでも対応可能なインターネットでも可能です。ぜひインターネットでの回答にご協力ください。調査の結果は、各種行政施策や学術研究の基礎資料としての利活用だけでなく、経営の参考資料として、事業者の皆様方にも活用していただいております。

詳しくは、<http://www.e-census2016.stat.go.jp/> にアクセスください!!

調査へのご協力のほどよろしくお願いいたします。



【問い合わせ先】 北九州市企画調整局政策部企画課統計係 TEL:093-582-2135